

# 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に関する取組について

関連する分野別の取組  
 ⑥生活習慣病予防・重症化予防  
 ⑦フレイル対策

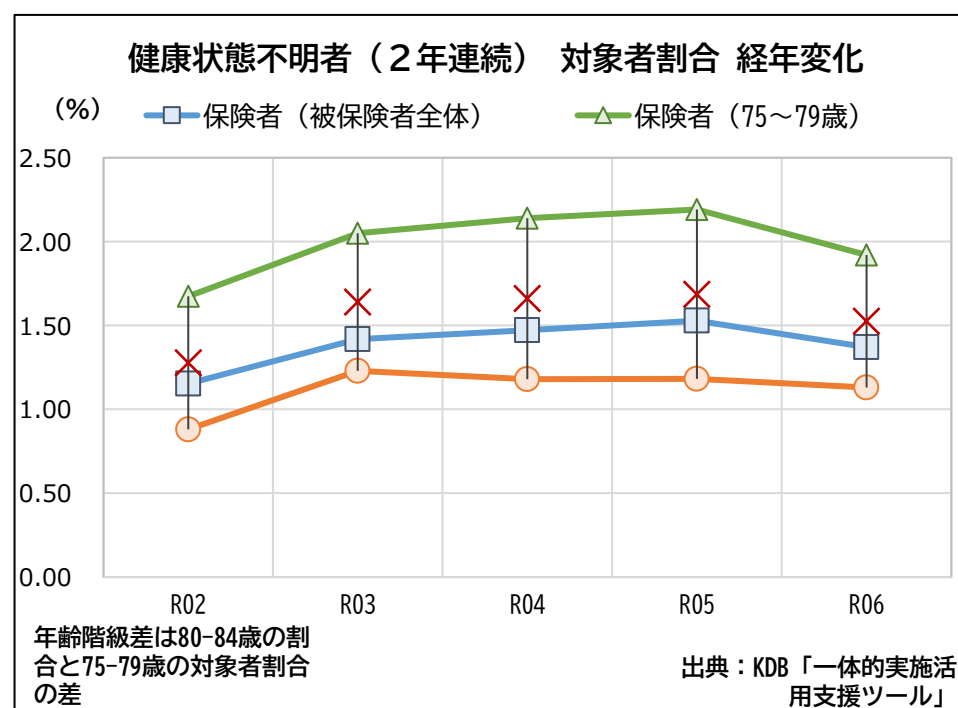
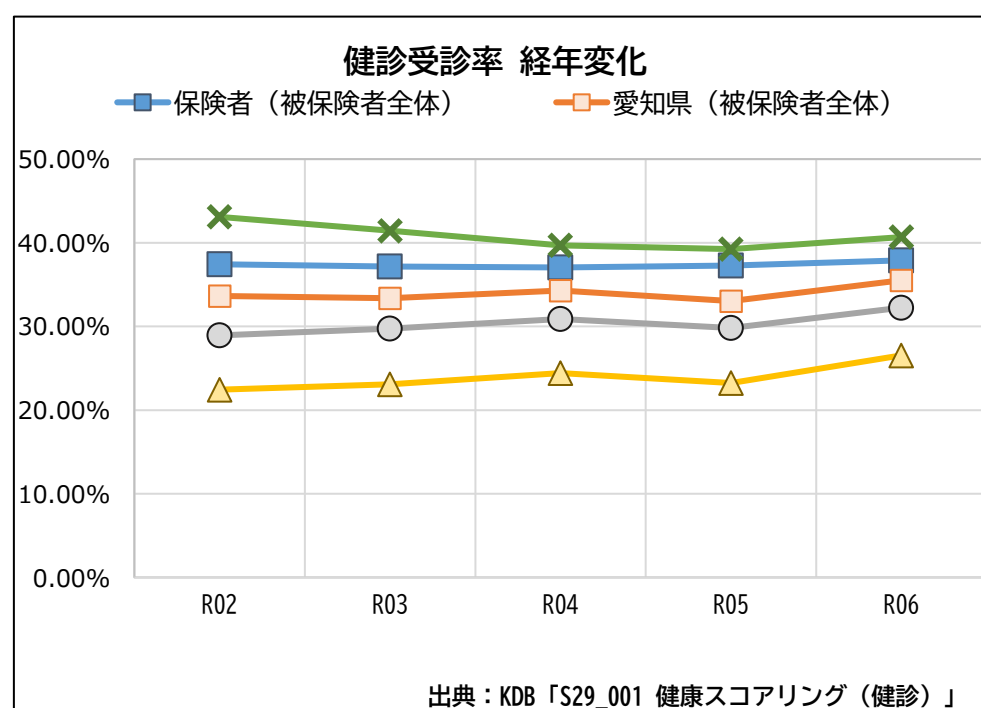
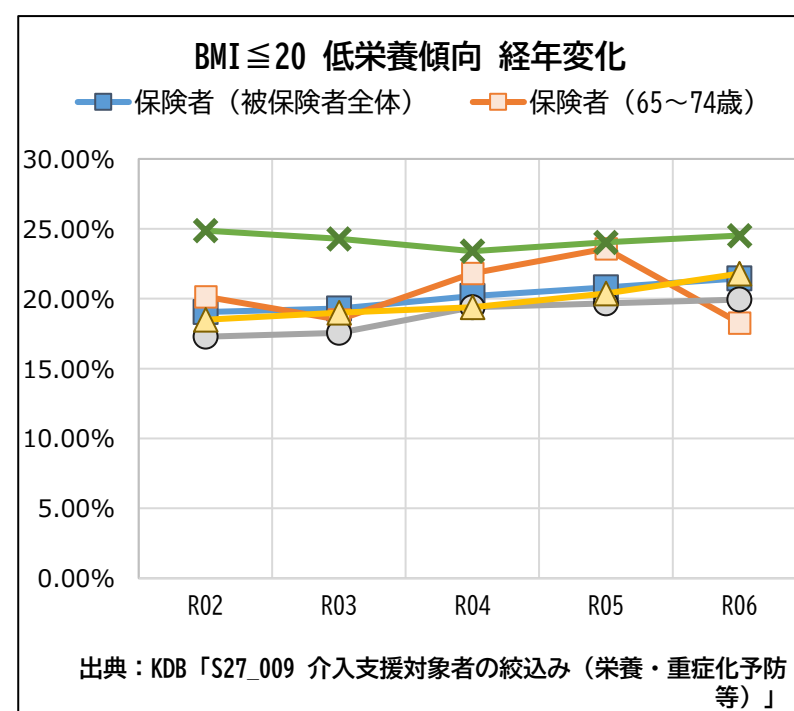
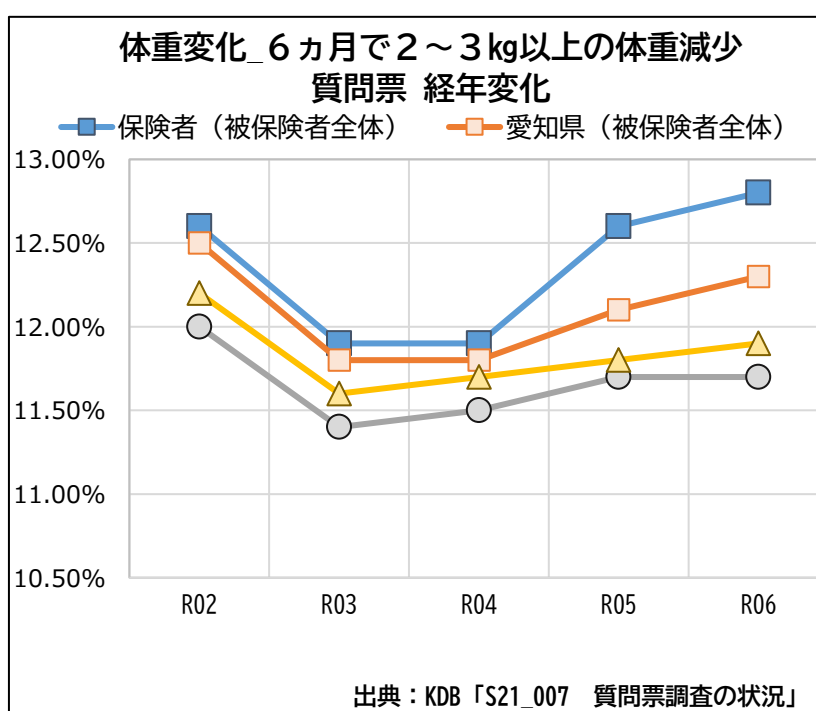
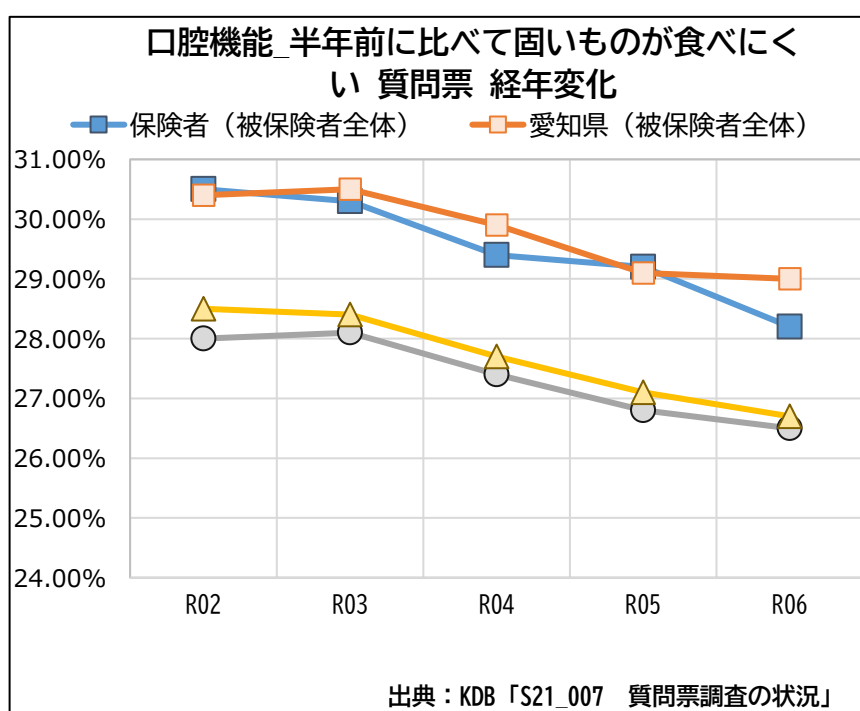
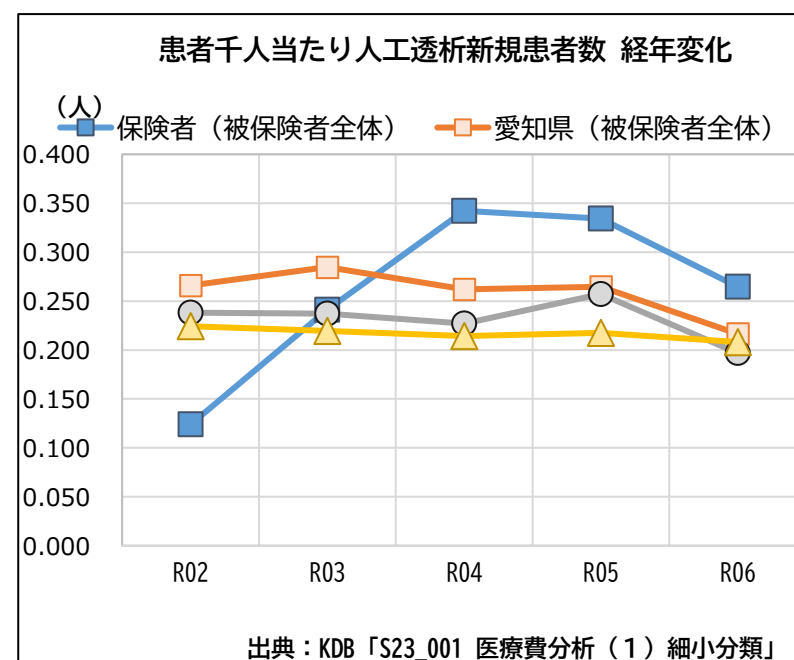
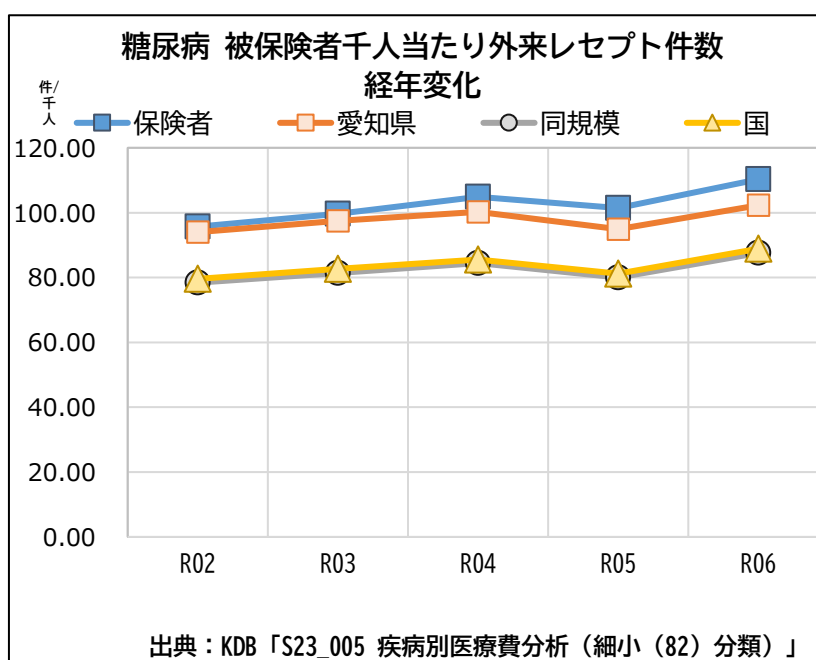
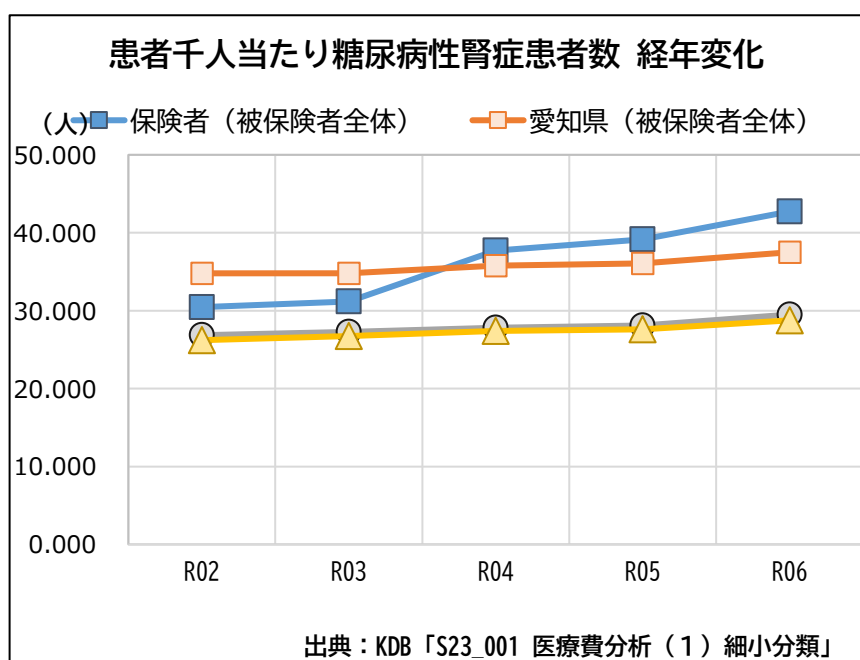
## 1. 事業実施の目的

### (1) 背景

高齢化により慢性疾患やフレイルの高齢者が増え、個々の状況に応じた継続的な支援が必要となっている。令和元年の法改正で、後期高齢者の保健事業を市町村が介護保険の地域支援事業と一体的に実施することが努力義務となった。

### (2) 小牧市における健康課題

- ① 糖尿病性腎症から人工透析への移行リスクの増大
- ② 低栄養・フレイルのリスク増加
- ③ 生活習慣病の有病率の高さ
- ④ 健康状態不明者の存在



## (3) 目的

- 医療・介護・健診データ等を活用した効果的・効率的な事業の実施
- 生活習慣病の重症化予防と生活機能の維持・向上の両面からの支援
- 健康状態不明者の把握と早期介入による健康リスクの軽減
- フレイル予防による要介護状態への移行の遅延
- 健康寿命の延伸及び医療・介護費用の適正化

## (4) 令和7年度事業内容

### ○ハイリスクアプローチ

- ・ 口腔機能低下
- ・ 身体的フレイル ※令和7年度より開始
- ・ (new)重症化予防（糖尿病治療中断者） ※令和7年度より開始
- ・ 健康状態不明者

## (5) 令和8年度事業に向けた変更点

### ○ハイリスクアプローチ

- ① 「口腔機能低下者」と「低栄養・体重減少者」を複合的に支援する。
- ② 「身体的フレイル」をポピュレーションアプローチに位置付けているまちかど運動教室の参加者と連動して支援する。
- ③ 重症化予防（糖尿病治療中断者）対象者の変更。

#### ① 「口腔」「低栄養」アプローチ（新規）

##### 対象者

- ・ 国の抽出基準に準じて各領域より抽出
- 「低栄養」健診：BMI $\leq$ 20かつ質問票⑥（体重変化）に該当
- 「口腔」質問票④（咀嚼機能）⑤（嚥下機能）のいずれかに該当かつ
- レセプト：過去1年間歯科受診なし
- ・ 年齢：75～84歳 ※除外：がん、人工透析、認知症、うつ、要介護認定

##### 支援方法

- ・ 歯科衛生士と栄養士の同行訪問による支援。
- ・ 保健師による支援が必要とアセスメントした場合には、地区担当保健師へつなぎ、他の必要な社会資源への接続を検討する。
- ・ 歯科健診の受診勧奨、継続的な健康診査の受診勧奨を行う。
- ・ 通知時に身体状況、生活状況を把握するためのアンケートを同封し、返信をもらい事前に状況を把握する。

#### ② 「身体的フレイル」（支援対象者の変更）

##### 対象者

- ・ 国の抽出基準に準じて抽出された対象者に案内し実施している「まちかど運動教室」（6回1クルールの教室）で、個別支援が必要とアセスメントされた者に地区担当保健師が家庭訪問して支援を行う。

#### ② 「重症化予防（糖尿病治療中断者）」（支援対象者の変更）

##### 対象者

※令和7年度対象者にあった「健診受診者でHbA1c検査の値が7.0%以下を除く」という項目をなくす。

- ・ 国の抽出基準に準じて抽出
  - ・ 令和7年度に後期高齢者健康診査を受診していない
  - ・ 令和4・5・6年に糖尿病治療薬処方あり
  - ・ 令和7年度に糖尿病治療薬処方なし
  - ・ 令和7年度にHbA1c検査のレセプトがない
- ・ 年齢：75～79歳 ※除外：80歳以上、がん、人工透析、認知症、うつ、要介護3～5